

歴史について考える

この控えめな白いガーデンチェアは愛されず放置されているように見えるかもしれませんが、戦争の生存者の記念碑として立っています。椅子はプラスチックのように見えるかもしれませんが、実際は青銅製です。第二次世界大戦中は金属の需要が高く、多くの神社の銅の彫刻が溶けて武器になりました。

この椅子はこうした戦時の彫刻の運命を避けることができるのでしょうか？もしかしたら、木の枝が介入して、手の届かないところまで持ち上げてしまうかもしれません。恐らく「日用品」として地味に隠れていれば、将来的な破壊から守ってくれるかもしれません。実際、「日用品」は 1,000 年後にも何を意味するのでしょうか？